

平成18年度 第一回VUV・SX高輝度光源利用者懇談会幹事会議事録

日時：平成18年5月9日（火）13：00～16：15

会場：東京大学物性研究所 6階 第2会議室

出席者：辛(会長、東大物性研) 雨宮健(東大) 雨宮慶(東大) 伊藤(KEK) 太田(立命館大)
尾嶋(東大) 小野(KEK) 木下(SPring-8) 木村(分子研) 佐藤(東北工業大)
大門(奈良先端大) 藤森(東大) 間瀬(KEK) 宮原(首都大東京) 柳下(KEK)
柳原(東北大) 吉信(東大物性研)

オブザーバー：上田(東大物性研究所所長) 柿崎(東大物性研)

配布資料

- ・ 平成17年度第二回幹事会議事録
- ・ 平成17年度総会議事録
- ・ 平成18、19年度会長・幹事選挙結果報告書
- ・ 平成17年度会計報告書
- ・ 「高輝度光源施設計画の中止について」
- ・ 「東大放射光アウトステーション構想について」
- ・ VUV・SX高輝度光源利用者懇談会 会則・細則

報告・議事

- ・ 議事に先立ち、上田東大物性研究所所長からの挨拶があった。
- ・ 前回議事録の承認
平成17年度第二回VUV・SX高輝度光源利用者懇談会幹事会議事録、平成17年度総会議事録が承認された。
- ・ 平成18、19年度 会長・幹事選挙について
柿崎選挙管理委員（東大物性研）より、平成18、19年度の会長・幹事選挙結果について報告され（資料1）、承認された。
- ・ 平成17年度会計報告
柳下会計委員長より、平成17年度の会計報告が行われ、承認された。

- 施設報告

柿崎軌道放射物性研究施設施設長より、東京大学の高輝度光源施設計画の中止について報告された。また、軌道放射物性研究施設加速器グループでは、現在、原研・KEKが共同開発しているERLプロジェクトに参加していることが報告された。

- 東大放射光アウトステーション計画について

東京大学放射光連携研究機構長の尾嶋氏より、東大放射光アウトステーション構想についての報告が行われた。

- 今後の活動について

- 東京大学の高輝度光源施設計画の中止、そして、今後の計画とその進行状況を逐次会員に報告する。その上で会員の意思の確認を行っていくことが重要である。
- 東京大学の高輝度光源施設計画の中止により、会則の見直しが急務である。特に、第1章の第1条、第2条は、懇談会の目的を明確にし、会員相互の理解を図る上で非常に重要であるため、今後幹事間で検討し早急に会員に報告することとする。
- ニュースレター**No.15**を発行し、東京大学の高輝度光源施設計画の中止、今後の計画の報告、懇談会の新会長・幹事の紹介を行う。

- 自由討論

以上の報告を受け、以下のような意見があった。

- 東京大学の高輝度光源施設計画が中止されても、新たなアウトステーション計画に協力していけるよう、懇談会を存続すべきである。
- 懇談会の立場を明確にするべきである。東京大学は柏キャンパスの高輝度光源施設建設を中止したが、懇談会としては、アウトステーション計画を活動の中心にしていくべきではないか。
- 東京大学の計画の中止などの状況により、名簿の改訂を行う必要がある。

- 委員長選出

新幹事の中から、平成18、19年度の委員長が、辛会長により指名され、承認された。

計画委員長 吉信 淳（東大物性研）

会計委員長 柳下 明（KEK-PF）

庶務委員長 尾嶋正治（東大工）

編集委員長 藤森 淳（東大新領域）

会計監事 宮原恒昱（首都大学東京）

（議事録 事務局）